

# ホットな消費者 News

消費者問題の事例対処法を解説します。

## 引っ越しサービスをめぐるトラブルに注意を!

引っ越しを契約した時に、業者から無料でダンボールを受け取った。しかし、別の業者と契約したので、最初の業者にキャンセルすることを伝えると、送料負担でダンボールを送り返すように言われた。無料と言われ受け取ったが、キャンセルの場合は送料を負担しないといけないのか。

### 対処法

- ◆契約をキャンセルした場合、ダンボールの返送料金を負担しないといけない場合があります。
- ◆契約する時は、見積書とともに必ず約款を確認し、ダンボールの費用負担についても業者に確認しましょう。
- ◆進学や就職など、春は引っ越しに関する相談やトラブルが多くなります。焦らず、複数の業者から見積もりをとるなどよく検討しましょう。
- ◆もしトラブルになった場合は、消費生活センターなどに相談しましょう。

お問い合わせ

消費者ホットライン ☎ 188

久留米市消費生活センター ☎ 0942-30-7700 福岡県警察 ☎ 110 または # 9110

## 広川文芸

### ひろかわ俳句会



初富士や無残な能登の大地震  
去年今年日々の暮らしの穏やかさ  
山茶花や夜来の雨に散り急ぐ  
黒雲を押し上げて出る初日の出  
一村や墨絵の如く雪景色  
奉奠の忍び手哀し春隣  
積雪に倒壊隠し静もれり  
黒豆の艶やかなりて煮上がりぬ  
臘梅や家覆うほど枝広ぐ  
梅の花ちらほら咲きて庭染むる  
悴みて文字揺れてをり面会簿  
ほつこりと手足のばせし柚子湯かな

一瀬 砂智子  
野中 勝美  
青木 佳代子  
原口 正信  
原口 あつ美  
水本 艶子  
結束 節子  
溝田 幸  
渡辺 広子  
酒井 司  
柴田 眞理  
福田 美知子

### 櫻の会

晴着まとひ坊主めくりに興じたる昭和の正月セピアにくもる  
ぼつねんと手袋ひとつ置きみやげ孫等の賑はふ声を残して  
竜の玉まんまるまるく実を結ぶ襟の飾りにつけたいものよ  
遠き日に親族の集ひし餅つきはきなこ・ぜんざい思ひ出溢る  
新春の日本を揺るがす大地震めげずに向かふ共通一次  
菜園の大根たちは紅白のなますとなりて膳を賑はす  
うす紙の覆ひをとれば雛さまは去年より眉に愁ひを込むる

中倉 明美  
山崎 美代子  
野中 勝美  
一瀬 砂智子  
瀧武 美智子  
小西 俊郁  
青木 佳代子

「ひろかわ俳句会」会員募集してます。◆日時 毎月第1(休)、9:30～11:30 ◆場所 町民交流センター「いこっと」

# 差別の歴史と人権感覚

～ 3月21日は「国際人種差別撤廃デー」～

☎生涯学習課人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

## アパルトヘイトから学ぶこと

第二次世界大戦後まもない、1948年の南アフリカでは、オランダ系白人が結成した国民党が総選挙で勝利したことをきっかけに「アパルトヘイト」という、黒人に対する人種隔離政策が始まりました。その内容は、選挙権を付与しないことや住区の制限、職業選択の制限など、あらゆる分野で差別的な立法措置をし、黒人の人権を侵害するものでした。この愚策は、約40年以上にわたり黒人の人権を侵害し、国際社会を巻き込む大問題へと発展していきます。

1960年3月21日、アパルトヘイト政策の一環である「パス法」<sup>※</sup>に反対するデモ行進に対して警察が発砲、69人が亡くなる事件が起きました。これをきっかけに、黒人による抗議活動や暴動が各地で頻発。国際社会からも強い非難の声が上がり始めます。そしてついに国連が乗り出し、1966年3月21日を「国際人種差別撤廃デー」と定めるに至りました。

※パス法……黒人に対し、身分証明書の携帯を義務付ける法律

## 人種差別とSDGs

人種差別は、前述した黒人に対しての差別のみならず、アジア系差別やユダヤ人の迫害など、長い歴史の中で古くから存在してきました。すべての人間は平等であるべきですが、今も国内や国家間の不平等が数多く存在しています。そのような状況を踏まえ、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の第10項では「人や国の不平等をなくそう」という目標を掲げ、差別をなくす取り組みを強化しています。

## 著名人による人権運動

2020年8月に行われたテニス全米オープン女子シングルスで優勝した大坂なおみ選手は、過去に人権侵害の犠牲となった黒人被害者の名前入りマスクを着用し、人種差別の撤廃を訴えました。優勝後のインタビューで「大切なのは、みんなが議論を始めること」と語り、全世界へ問題提起しました。影響力の強い著名人による人権運動は、ほかにも多く存在します。

## 国内の人権問題

人権は、生まれた場所や文化、肌の色などで侵害されるものではありません。しかし、日本でもアイヌの民族問題や外国人の人権問題など、多くの差別が存在します。そこには「同和問題」など、過去の歴史の中で作り出された日本特有の問題も含まれており、今も一部の人に根強く差別意識が残っているのが現状です。

## 日本初の人権宣言

1922年3月3日、全国水平社創立大会が行われ、「被差別部落解放」をスローガンに日本全国で水平社が立ち上がります。その一つである全筑後水平社は、1923年12月23日に久留米市の恵比須座で結成されました。被差別部落出身の人だけでなく多くの人が賛同し、全筑後水平社創立大会が開かれました。

今年の1月20日、久留米市の石橋文化ホールで、全筑後水平社創立100周年記念集会が開催され「水平社宣言」が朗読されました。全国水平社創立大会で採択された日本

初の人権宣言ともいわれる水平社宣言には「人間を尊敬する事によって自ら解放せんとする」と示されており、人間を尊敬することこそがすべての差別の解消につながることを謳っています。

## 差別のない社会に向けて

一部の人が差別撤廃を訴えても、一人ひとりが自分のこととして考えない限り、人権問題は解決できません。次の世代へ差別を残さないためにも、人権について正しく学ぶ必要があります。国際人種差別撤廃デーや水平社宣言に込められた願いを受け止め、差別のない社会を築いていきませんか？

全筑後水平社創立100年  
その現代的意義

水平社宣言

人権宣言としての普遍性

人間を尊敬する事によって  
自ら解放せんとする

差別⇔尊敬

人の世に熱あれ、人間に光あれ

～「水平社宣言」より抜粋～